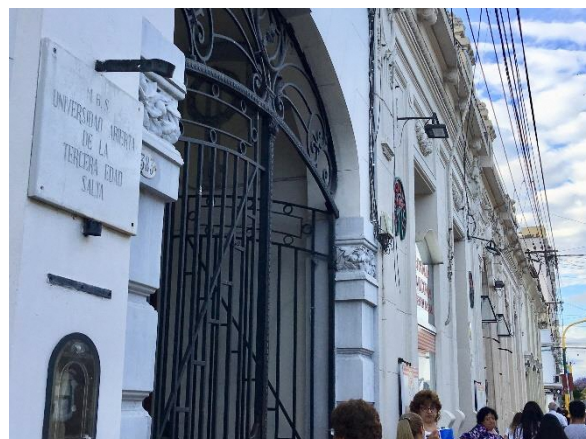


JICA 日系社会シニア海外協力隊の小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

今回はサルタにある UNATE (UNIVERSIDAD ABIERTA DE LA TERCERA EDAD) という公共施設をご紹介します。私が UNATE を知ったのはちょうど一年前です。サルタの文化といえば、フォルクローレ。フォルクローレのダンスを習いたくて教室を探していたときに日系の方から教わりました。サルタ市が運営している施設で、日本の公民館のような施設です。違う点は年齢制限があり50歳以上しか利用できないこと、そしてどの講座も無料であることです。(経済危機の中、無料のサービスが多いのが本当に不思議です。)



どんな講座があるかというと、英語、フランス語、イタリア語・・・コミュニケーション技術・・・合唱、カラオケ、フォルクローレ・楽器・・・フォルクローレ・ダンス、タンゴ・・・絵画、手芸、料理などなど、51にも及ぶ講座が無料で開かれています。会員数は2600人というのですから、すごいですね。時間は朝8時から夜8時までとだいたい日本の公民館と同じです。



館長の
オマール・ベグさんです。



事務の
アドリアナさんです。
すっかり友だちになりました。

掃除やその他の実務を担当している
ミリタさんです。
午前1回と夕方1回
パンクッキーとマテ茶の
無料サービスがあるのですが、
いつも100万ドルの笑顔で
美味しいパンクッキーとマテ茶を
届けてくれます。



私と夫が参加しているのは、フォルクローレのダンスと楽器の講座です。
サルタ市民でない外国人の私たちも50歳以上というだけで無料でこれらの講座を受け
させていただいています。税金も払っていないのに本当にありがたいです。
今日は、私たちの仲間をご紹介します。

フォルクローレ・楽器 (最後のページに楽器の写真があります)

サルタの民族楽器で一番人気は、やはりチャランゴです。でも私がこのグループに参加したのは、知り合いからいただいたケイナのためでした。音楽はあまり得意ではないのですが、せっかくいただいた楽器を無駄にすることはできません。思い切ってこのクラスに入ることにしました。チャランゴやケイナの楽譜は 三味線や琴のように西洋音楽の五線譜ではありません。私の先生は、まず自分でケイナを吹き、体で覚えた音を文字(ドレミファソラシドではなく、SOL, LA, SI, DO, RE, MI, FA, SOL) にしてくれます。

音楽下手な私はそれを日本語のドレミファソラシドに書き直して練習しています。『コンドルは飛んでいく』、『花まつり』を卒業し、今は他のフォルクローレの楽曲を練習しています。

先日、とても蒸し暑い日がありました。みんなで中庭に出て練習しましたが、吹いて来る風がとても心地よく、『日本ではできないな。こんなこと』と思いながら ゆったりと流れる時間を満喫することができました。もちろん、クッキーとマテ茶を飲みながら。



フォルクローレ・ダンス

このグループは本当にダンスが好きな人ばかりが集まっています。UNATE で練習していますが、毎週のように公園などで行われるイベントや老人ホームなどへ行ってその成果を披露しています。いっしょに来た夫もみなさんと一緒にあちこちで踊らせていただいています。明るくて気さくな人達ばかりです。私は、写真のようなオレンジの衣装を着ることにどうしてもためらいがあり、練習だけにさせていただきます。



その他にもいろいろな講座が開かれています。それは日本の公民館とほぼ同じですが、ただ、日本と比べて語学講座への関心が強いように思います。英語の講座には40人以上いたでしょうか。簡単な英語でしたが、英語の歌を歌ったりしてとても楽しそうでした。



フォルクローレを歌うグループです。
私と一緒に楽器を習っている人がほとんどです。
シニア世代にも関わらず素晴らしい声量です。



英語のグループです。
趣味として楽しんでいるという感じです。



美術のグループです。
自慢の作品を見せていただきました。

10月21日はアルゼンチンの母の日でした(日本の母の日は5月ですが、ここは10月です。この日ばかりは花屋さんは大賑わいでした。)

UNATE では、すべての講座の受講者が集まり、持ち寄りパーティが開かれました。くじ引きあり、ダンスありで大変盛況でした。南米のシニア世代のノリはすごいです。本当に50歳以上なのでしょうか。



注記：

ケイナもチャランゴも南米の民族楽器です。ケイナは尺八によく似ています。なんでも尺八が吹ければケイナも吹けるとか。



ケイナ



チャランゴ